

【ねがいましては】

平成15年3月31日

第154号

KYOWA SCHOOL

「贈りもの」

春休み、春の講習のさなか・・・

今年小学校一年生になるNちゃんが、この教室に「体験」ということで来ました。

ホームページを見ていただいたのがきっかけで、この教室のほのぼのとした雰囲気を味わってもらうのが目的です。教室には小学校6年生から中学校3年生までの子たちが、思い思いの勉強に取り組んでいます。おおかたが新学年の勉強の先取り学習ですが・・・。

中学1年生のお姉さんと、仲良く「書き取り」の練習です。ひらがなを正しいえんぴつの持ち方でじっくりと書いていきます。手を添えて、姿勢を正して・・・。

楽しそうに書きます。中学1年生の子も楽しそうに書きます。

「お姉さんね、字へただから・・・。」などと、学年、年齢、まったく関係のない、綺麗な空気が漂います。

私は心の中で、「うーん、これなんだよなー。」

学校へ上がる前の子の、何屈託ない表情が中学生にまで乗り移っています。

「助けられている・・・。」この小さな子が、勉強に怖さを感じるようになってしまった子の心を癒しています。その癒された気持ちのままで、中学校の勉強も向かえたら・・・。

「どんな子でも、きっと就学前は皆こうなのだろうな。それがなぜ、学校へ行き始めて時間が経つにつれ、勉強に対する気持ちがここまで変化してしまうのだろう。」

私の中になんともやるせない気持ちが表れました。

きっと「成績」という評価をめぐって、徐々に変化させられてしまうのだろうと思うのです。大人達のつくったこの制度は、当たり前ものとして今日存在します。ほんのわずかなものだけが「勝利」の気持ちを手に入れることができます。残りは・・・。

この小さな6歳の子の表情は、私に、彼女達に大きなプレゼントをくれました。周りのお姉さん達の表情も、素直でとても明るい表情です。「母」の表情とでも言うのでしょうか。

帰り道、車で送ってゆく途中、私はNちゃんに「みんなやさしい人たちばかりでしょう！」と声をかけました。

「うん、Nねえ、なんでそうなのか知ってるよ。だってね、みんなくりたせんせいがおしているからでしょ。」

「・・・・・・・・・・」

「こんなにうれしい言葉を・・・。」

きょうは日曜日、新高校1年生達はここで勉強しています。しかも自分から来ていいですかと申し出て・・・。Nちゃんの贈りもの、そのままあなた達の心に通じているのですね。ありがとうNちゃん。そしてみんな。

4月の予定

毎土曜日、在塾生・新入生・体験生、不安のないスタートを・・・ということで、無料の新学期授業を行います。わかるんだなこれが！ということで、詳しくは別のお手紙で7日（月）～12日（土）まで、毎日抽選会、鍵つきロッカー・トトロランプなど、多数景品を用意しています。見学の人も、どうぞくじを引いてください。